

# 2023(令和5)年度 入学試験問題

東大・医進クラス 2月1日 AM

## 適性検査 I

### 注 意

- (1) 指示があるまで表紙を開かないこと。
- (2) 問題および解答用紙の両方に受験番号・座席番号を記入すること。
- (3) 声を出して読まないこと。
- (4) 解答用紙の受験番号欄は、以下のように1マスに1つずつ数字を記入してください。

受験番号	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---

- (5) 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。

受験番号	<input type="text"/>				
座席番号	<input type="text"/>				

1 次の文章1と文章2を読み、あとの問題に答えなさい。

文章1

取り返しのつかないことをしてしまった、そう思うことがあるだろう。

絶対に口にはいけないうことを、つい感情的になつて口にしてしまった、出来心で人間としてしてはならないことをしてしまった、そんなことが人生の中ではあるものだ。

もちろん、過去を変えることはできない。それが間違まちがいなく自分のしたことであれば、しっかりと責任をとらなければならぬ。だが、生きている限り、どんなことでも取り返しはつく。取り返しのつかないことなどない。

口にはいけないうことを口走くそうつてしまった場合、もちろん、マイナス分を取り戻もどすにはずいぶんと時間がかかり、努力を要するだろう。

ひどく友だちを傷つけてしまった場合、なかなか心を開いてくれないかもしれない。だが、失点以上のプラス点を加えることによつて、何とか修復しゆふできるものだ。

罪おとがを犯おかしたにしても、しっかりと罰ばつを受けさえすれば、自分の過あやまちをリセットすることができる。もちろん、過去はそのまま残のこるが、その後の努力で、いくらでも信しん頼らいを取り戻もどすことが

できる。

人生というのは、ある意味でサッカーや野球の試合のようなものだ。しかも、コールドゲーム制度のない野球だ。柔道じゆうどうやレスリングなどのように一本勝ちや一本負けはない。どんなに点を取られても、その後に取り返せば、負けにはならない。

取り返しのつかないような大きな失敗をしてしまったということは、大量失点してしまったということだ。だが、まだ負けが決まったわけではない。それ以上の点を取ればいい。

しかも、野球やきゅうと違ちがつて、9回で終わるわけではない。勝負は一生続く。生きている間に、失点以上の点を取れば、それは成功した人生だと言えるだろう。

人間には、若いころに力を発揮するタイプと、晩年になつて浮うかび上あがつてくるタイプがいる。初めは不遇ふぐうでもだんだんと自分らしい生活を築ける人もいる。人生の後半になつてしたことがうまくいって、とんとん拍子びょうしに人生が好転こうてんすることもある。

それなのにあきらめてしまったら、その後のチャンスを自分から捨ててしまうようなものだ。

人間、だれでも大失敗をする。何度でも大失敗をする。

成功する人とそうでない人の差は、その失敗をどう生かすか

だ。成功した人は、失敗をそのままにしない。なぜ失敗したのかを考える。次にそれを改善しようとする。失敗したことを無駄にはしない。

(樋口裕一『社会人になる前に知っておくべき12カ条』による)

## 文章2

世の中の失敗は二つのタイプに分かれると私は考えます。

「許される失敗」と「許されない失敗」です。

もつと簡単に言うなら「よい失敗」と「悪い失敗」です。

まずは「よい失敗」について説明します。

「よい失敗」とは「個人が未知なるものに遭遇して起きた失敗」です。個人が無知であったり、あるいは、何かミスして起きるタイプの失敗です。この手の失敗をしたひとは、なんらかの批判やペナルティを受けることとなります。その失敗で、ある程度、まわりのひとに迷惑をかけてしまったのであれば、叱られるくらいは仕方ないかもしれません。しかし、あまり責め立てたりするのは避けるべきです。

なぜなら、その「未知なるものとの遭遇による失敗」は、そのひとが成長する過程において、必ず通過しなければならぬものだからです。

失敗なしに人間は成長しません。ひとは失敗して成長し、また小さな失敗を体験して、その分、成長していくとくり返しのなかで、一つひとつの失敗経験から体験的知識を得ることで、次の大きな失敗を起こさないために、徐々に軌道修正していくからです。さらには、その失敗経験を将来の成功へと転化することもあるからです。

失敗と成長・発展の関係は、生物学の「系統発生と個体発生の仕組み」の原理に似ています。

私たちはどのようなプロセスを経て「人類」へと進化したのか、みなさんも学校の理科の時間に習ったと思います。系統発生で考えると、およそ一〇億年前、地球に初めて動物や植物の祖先となる多細胞生物が登場し、約四億六〇〇〇万年前に魚類が登場、その一部が両生類となり、そこから哺乳類が進化して、人類が誕生しました。

一方、私たちは母親の体内で受精卵から赤ちゃんにまで成長しますが、この個体発生においても、やはり系統発生と同様に、受精卵は細胞分裂をくり返して、最初は魚類、次は両生類というプロセスを経て、最後に「人間」の姿となります。

つまり、人類が誕生するまでの系統発生の一〇億年のプロセスが、赤ちゃんが誕生するまでの個体発生の一年足らずのプロセスとして、母親の体内で、再びくり返されているのです。

私は、人類が母親の体内で「魚類↓両生類↓哺乳類」という進化のプロセスをたどって生まれてくることと、人間が失敗から知識を得ながら成長していくプロセスに共通するものを感じます。

人類はこれまで、その長い歴史のなかで、さまざまな失敗を経験してきました。その失敗の数々が人類を進化させ、文明を発展させて、現在の私たちの世界につながっています。それは、一人の人間が成長するときも例外ではなく、人類がたどった歴史と同じく、数々の失敗を体験してこそ、初めて成長できるのではないかと思うのです。

この「ひとが成長するうえで、必ず必要となる失敗」が「よい失敗」なのです。

ですから、成長したいと望むひとは、積極的に「よい失敗」を経験するべきです。

(畑村洋太郎『やらかした時にどうするか』による)

〔問題1〕

文章1に「人生」というのは、ある意味でサッカーや野球の試合のようなものだとありますが、「人生」と「野球の試合」との共通点、相違点について筆者はどのように考えていますか。

次の説明文の A ～ D にふさわしい言葉を、本文中から指定の字数で抜き出しなさい。

人生と野球の試合とは、「A (二文字) を変える

ことはできない」、「B (二文字) 以上のプラス点を

加えることができる成功することができる」といつ

た点で共通しているが、人生は野球の試合とは違いコ

ールドゲーム制度があったり、9回で終わったりせず

に「C (七文字) ので、「D (九文字) ことなどな

いと言える。

〔問題2〕

文章2に「失敗と成長・発展の関係は、生物学の「系統発生と個体発生の仕組み」の原理に似ています」とありますが、「失敗と成長・発展の関係」と「系統発生と個体発生の仕組み」の原理」との共通点を四十字以内で説明しなさい。

なお、「や。や」などもそれぞれ字数に数え、一まずめから書き始めること。

〔問題3〕

あなたがこれまでに経験した「失敗」を今後の人生にどのように生かすことができると考えますか。自分の考えを四百字以上五百字以内で書きなさい。ただし、あとの「手順」と「きまり」にしたがうこと。

〔手順〕

- 1 あなたが経験した「失敗」の具体例を書け。
- 2 1で書いた「失敗」によってあなたが成長できたことを書く。
- 3 2で書いたことを今後の人生にどのように生かすことができるかを書く。

〔きまり〕

- 題名は書きません。
- 最初の行から書き始めます。
- 各段落の最初の字は一字下げて書きます。
- 行をかえるのは、段落をかえるときだけとします。
- 「や。や」などもそれぞれ字数に数えます。これらの記号が行の先頭に来るときには、前の行の最後の字と同じように書きまます。(ますめの下に書いてもかまいません。)
- 「と」が続く場合には、同じように書いてもかまいません。この場合、「。」で一字と数えます。
- 段落をかえたときの残りのますめは、字数として数えます。
- 最後の段落の残りのますめは、字数として数えません。



[問題1]

A過去

B失点

C勝負は一生続く

D取り返しのつかない

[問題2]

人類が歴史の中で経たプロセスを一人の人間が成長の中でくり返している点。

事		で	う	っ	ち	し	中	れ	っ	め	い	毎	宿	し	は	当	夏	み	
に	私	い	友	て	に	か	過	、	た	に	な	日	題	て	い	に	休	の	私
取	は	っ	人	い	な	し	ぎ	不	。と	字	な	や	を	い	いた	楽	み	宿	が
り	こ	ぱ	に	て	な	し	に	安	。と	を	な	ら	確	た	し	し	は	題	心
組	の	い	見	汚	っ	翌	な	と	う	大	か	ね	認	。そ	が	く	家	を	に
む	失	に	ら	い	。字	日	ん	絶	と	き	だ	ば	し	そ	ま	過	族	最	残
大	敗	な	れ	。き	は	自	と	望	う	く	。と	な	た	し	だ	ご	旅	終	っ
切	か	っ	る	。ち	不	主	か	を	就	書	。に	ら	瞬	時	た	し	行	日	て
さ	ら	た	と	。ち	自	学	終	感	寝	い	。に	な	間	、	間	は	を	ま	い
を	き	。	思	。ち	然	習	わ	じ	時	たり	。に	い	絶	夏	。宿	し	で	る	失
学	ち		う	。ち	に	の	ら	な	間	り	。に	自	望	休	題	たり	や	敗	し
び	ん		と	。ち	大	ノ	せ	が	と	し	。に	主	的	み	の	友	ら	な	た
そ	と		恥	。ち	き	ト	る	ら	な	た	。に	学	な	の	考	達	な	か	経
の	計		ず	。ち	い	を	こ	作	り	が	。に	習	気	最	え	と	か	っ	験
次	画		か	。ち	し	見	と	業	母	全	。に	を	持	終	な	存	っ	た	は
の	を		し	。ち	か	て	が	を	か	然	。に	全	ち	日	在	も	た	日	、
年	立		い	。ち	か	嫌	で	続	ら	進	。に	く	に	に	分	分	の	事	夏
か	て		気	。ち	き	な	き	け	は	ま	。に	や	な	り	か	っ	だ	だ	休
ら	て		持	。ち	な	気	た	真	叱	な	。に	っ	っ	。ち	て	本	だ		
は	物		ち	。ち	ぐ	持	。	夜	ら	か	。に	て	た	、	ご				

。

